

陳情第6号

陳 情 人

市民や団体との協働によるスポーツツーリズムの推進に関する陳情

1 陳情の要旨

本市のスポーツツーリズムを推進するに際して、広く市民に親しまれ、本市及び国内で競技人口の多いスポーツも事業の対象とし、より多くの市民や団体との協働によりこれを推進していただきたいです。

2 陳情の理由

少子化は最も深刻な政治課題です。働く場所の確保、質の高い保育と教育の実現、地域で子供を育てる協力体制等を図り、出生率を向上させることが人口減少対策として最も効果的です。岸田文雄元総理も視察した「岡山県奈義町」の取り組みは、大いに参考になります。特に、第1子はもちろん、第2子、第3子を安心して産み、育てる環境整備が最も効果的な出生率向上に繋がると考えます。

本市は、住み続けたい街ランキングにおいて栃木県で1位です。さらに移住定住の促進を図るためにも、スポーツを含む文化活動の充実により豊かな人生を送れることが不可欠です。

本市が「文化とスポーツと子供達の声が溢れる街」になることを願って、その一施策として、スポーツツーリズム推進に関して要望します。

第2次佐野市総合計画中期基本計画には、「スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり」を政策とし、「スポーツツーリズムの推進」における施策の目的として、以下の3点が掲げられております。

- ・スポーツを目的とした来訪者の増加を図ります。
- ・スポーツ大会等の運営に多くの人から協力が得られる体制を整えます。
- ・スポーツ大会や合宿等の本市での開催を推進します。

しかし、これまでの本市のスポーツツーリズムの推進の取り組みは、一

部のイベントに限られ、各スポーツ団体が独自に行っている大会などのイベントは、同施策とは一線を画し、事業の対象となっていないのが現状です。

地域の活性化は、より多くの市民の参画の上に成り立つものであり、広く市民に親しまれるスポーツを活用し、各団体との連携の下で進める「地域活性化の推進」並びに「スポーツツーリズムの推進」こそが、本来目指すべき施策の方向性であると言えます。

市民との協働の観点からも、これらをバランスよく進めていくことが肝要であり、合わせて施設整備に対する予算も適切に配分する必要があります。

矢板市の「矢板スポーツコミッション設立コンセプト」は、スポーツを通じて交流人口の増加、経済効果の拡大を目指すとともに、市民のスポーツ意識の醸成による健康的な地域社会の形成を図るものであり、参考にすべき事例です。

本市の経済の活性化並びに市民の健康寿命の延伸に繋げるためにも、広く市民に親しまれ、国内で競技人口の多いスポーツを活用し、より多くの市民や団体との協働によってスポーツツーリズム事業を推進するとともに、市民スポーツ振興のための環境整備を推進することを強く求めます。